

あま市民病院を より知っていただくために…

新しい病院 あま市民病院

外来看護師



して、同じ気持ちを持った仲間を増やし、職場環境を整えていきます。

小児科は医師が1名しかいないため入院治療をしていませんが、アレルギー外来、循環器外来、神経発達外来など関連病院の医師による外来診察が行われています。

病院の建物も老朽化し設備も古くなっていますが、「建物も人も中身の無い病院だ」と言われないように、「何かあったら市民病院へ行けばいい」「市民病院へ行つて良かった」と言われる病院にしていきたいと思えます。

平成22年3月、3町合併に伴い、公立尾陽病院は「あま市民病院」になりました。

これまで公立尾陽病院として50年余の歴史を歩んできましたが、現在は医師不足により病院のベッド数は99床にまで減り、働く仲間も減り続けています。

先日の小児科外来での出来事です。発熱と咳で受診した11歳の患児は診察の結果、胸部レントゲン、採血、点滴をすることになりました。この患児はレントゲンは撮ったことがあるようですが、採血、点滴は初めての経験だったようです。その場の雰囲気から何かされると感じたのか、患児はずっと泣いていて私たちの言葉に耳を傾けませんでした。そして、体をタオルで抑制しながら点滴をしましたが、処置が済んでも点滴が終わるまで泣きやまず、「患児は私たちの説明に納得

していなかったのだろうか」「怖い体験をさせてしまったのだろうか」といろいろ考えました。その2日後、また患児が来院しました。「少し良くなったけど、もっと元気になるたいから点滴してほしい」と言うので、母親の希望かも知れないと思いついてみたところ、なんと本人が自分で病院に行くと言ったそうです。体の調子が良くなり私たちの行為を理解できたのだと思いました。

処置については、分かりやすい言葉で時間をかけ納得のける説明に努めます。可能な限り怖がらせたり押さえ付けたりはしたくありません。私たちの医療は日々変化し、成長していかなければなりません。それは、患者が変化していくからです。これからもオーダーメイドの看護ができる病院にし、患者が求める看護ができる病院にしていきたいです。

問い合わせ先

あま市民病院
〒490-1111
あま市甚目寺山ノ浦
148番地

● 問い合わせ時間
午前8時30分
午後5時15分
※土日・祝日を除く

☎ (444) 0050
FAX (444) 0064
HP <http://www.city-ama-hosp.jp/>

歯の健康講座

Dental Health
海部歯科医師会

『歯周病と糖尿病のお話』

歯周病の原因である歯周病菌は血液に乗ってお口から全身へ、あるいは気管から肺へと進入したりします。

歯周病が重くなると、歯周組織から炎症物質が異常分泌されこれが血流に乗って全身に運ばれます。この物質がインスリン分泌を狂わせます。

糖尿病になると、中度から重度の歯周病にかかる割合は2.9倍となり、血糖コントロールが悪いほど歯周病も悪化することから第6番目の合併症と言われています。

歯周病治療により歯周組織の炎症が改善することで血糖コントロールも改善される可能性があると報告されています。

糖尿病以外にも全身の状態やさまざまな生活習慣病が歯周病と関係しています。

糖尿病予備軍、そして糖尿病の方は、主治医である医療機関での治療と同様に、かかりつけ歯科医でのより積極的な歯周病予防と歯周病治療をお勧めします。

あなたの今を!

- 平成22年国勢調査は、本格的な人口減少社会となって最初の調査になります。
- あなたが記入した調査票のデータは、地方交付税の算定基準や福祉政策、生活環境整備、防災対策など、さまざまな施策の実施や計画の基になります。
- 住みよいまちづくりのために、よろしくお願いたします。



センサス

2010 国勢調査

平成22年10月1日

9月23日から国勢調査員がうかがいます。

総務省統計局